

(一社) 日本臨床耳鼻咽喉科医会

令和2・3年度 第5回 理事会議事録 (Web会議) (摘録)

令和3年3月26日 (火) 20:00~22:05

出席者 会長：福興和正 副会長：浅井英世、川壽良明、藤岡 治

理事：麻生 伸、阿部博章、石谷保夫、稲村直樹、猪原秀典、大島清史、大橋一博

杉山貴志子、中川尚志、中澤 宏、永田博史、野上兼一郎、吉村 理

監事：伊東祐久、岩佐英之 事務局：平間妙子 (計20名)

報告事項

庶務委員会 (大橋理事)

1. 令和2・3年度第4回理事会議事録を報告した。
2. 令和3・4年度代議員一覧を報告した。
3. 入会・退会・異動者を報告した。
4. 令和3年度事業計画を報告した。

広報・渉外委員会 (中澤理事)

次年度より増員する委員の紹介を行った。

経理・会員福祉委員会 (稲村理事)

1. 令和3年2月末までの会計報告をした。
2. 2020年度及び2021年度会費納入状況を報告した。

地域医療委員会 (野上理事)

1. 次年度より増員する委員 (世良公志先生) の紹介を行った。
2. 令和3年2月8日~28日に行った新型コロナウイルス感染拡大に伴う第4回外来診療アンケート結果の報告を行った。

保険医療委員会 (杉山理事)

1. 日医からの以下の諮問に対する回答を日耳鼻保険医療委員会川壽委員長とともに検討して回答した。
2. 令和2年度改定の評価は回答済み
3. 令和4年度改定要望項目 外保連、内保連の

要望項目ともすりあわせて、診療所を中心とした項目を検討中。

学校保健委員会 (大島理事)

令和2・3年度第5回学校保健委員会を2月18日 (木)、日耳鼻学校保健委員会と合同で行った。(Web会議 (Zoom))

1. 日本医師会学校保健委員会は学校保健講習会を4月11日 (日) にWeb開催予定である。

令和2年度日本耳鼻咽喉科学会・日本臨床耳鼻咽喉科医会 学校保健全国代表者会議ならびに学校保健研修会の参加は117名であった。例年発刊される「耳鼻咽喉科学校保健の動向」に詳細を掲載予定である。今回の協議で検討された重点健診に関しては日医の渡辺常任理事の関心が強く今後医師会と共に協議をつづけていくべきと考えられる。

2. 令和3年度学校保健全国代表者会議ならびに学校保健研修会について

協議として、「学校健診の意義、必要な健診の内容、なぜ健診を行わなければいけないのか、今後の学校健診のあり方について」を主旨としてアンケート調査を行う方針となった。研修会は静岡県立総合病院高木明感覚機能センター長に講演を依頼した。

学術委員会 (浅井副会長)

2021年度の臨床医会セッションはセッション1。(共通講習)「医療行政について (仮題)」を厚生

労働省保険局医療課課長補佐の金光一瑛氏に、セッション2. (共通講習)「コロナ禍における保険診療と最近の中央情勢について (仮題)」を日本医師会常任理事の松本吉郎先生に依頼することが学術委員会の賛同を得て決まったことを報告した。

会報委員会 (石谷理事)

1. 令和2・3年度第4回および第5回会報委員会議事録を報告した。
2. 会報誌「日本臨床耳鼻咽喉科医会会報」創刊号の発行・発送費用について、見積書を提示し説明を行った。

協議事項

庶務委員会 (大橋理事)

令和2年度事業報告書を協議した。

経理・会員福祉委員会 (稲村理事)

1. 令和3年度予算案を協議した。
2. 余剰金について協議した。
 - 1) 新型コロナの影響で、事業の拡大や役員の交通費等が制限されたために発生した余剰金なので、本来の活動が再開されれば減額する

と思われる。したがって、取り崩しの容易な名目で保管しておいた方がよいと思う。今後、何周年かで記念式典を開催するならば、医会の出費は300万円程度が予想される。

- 2) 賛助会員確保のため、なるべく多くの関係企業などに働きかける必要がある。

学校保健委員会 (大島理事)

1. 令和2年度学校健診の実施状況に関するアンケート調査：

内容は学校保健委員会内で検討した。地域医療委員会の野上理事にご協力頂き臨床耳鼻科医会HPよりアクセスできる形にしたい。

2. 令和3年度耳鼻咽喉科健康診断の指針について：

指針を学校保健委員会で作成した。すでに日耳鼻、臨床耳鼻科医会HPに掲載される通知が日耳鼻より出されている。川崙副会長より臨床耳鼻科医会も通知を出すことが望ましいとのこと指摘があり、早急に対応することとした。

その他 (福與会長)

議事録の取り扱いについて協議した。